

WTO 加盟に関する米ロ二国間合意
～ただし知的財産保護の改善が依然として課題～

2006年11月20日
JETRO NY 澤井、中山

シュワブ米国通商代表部代表 (USTR) とグレフ経済発展貿易相 (ロシア) は 19 日、ロシアの WTO 加盟に関する二国間の合意文書に署名した。今般の合意事項は知的財産問題を含め、農業、非農産品市場アクセス、サービス等広範囲に及ぶ。ロシアは WTO の前身であるガットへの 93 年の加盟申請以来、我が国を含む 58 の既加盟国と二国間交渉を行ってきたが、米国との間でのみ実質的に交渉が終了しておらず¹、今般の米ロ合意はロシアの WTO 加盟交渉に向け大きな節目となる。

かかる合意のうち、知的財産問題について、ロシアが今後取り組むべき事項として、光ディスクやインターネット上の模倣品・海賊版対策、水際措置の強化、TRIPS 協定等の遵守等を含む拘束力をもった詳細な合意内容が明記されている。また、当該合意事項を完全に履行することが、今後予定される加盟作業部会における多国間交渉を終結させるために必要不可欠と明示するなど、議論を実質的に先送りする内容となっている。

これに先立ち、10 日付の二国間交渉の大筋合意に関する USTR の発表²に対して、国際知的財産同盟 (IIPA)³ が同日付で、現在のロシアは TRIPS 協定を遵守しておらず、同協定を遵守するまでは WTO に加盟させるべきではないとの声明を出していた⁴。また、米議会においても、ハッチ上院議員 (共、ユタ) 等が本年 5 月にブッシュ大統領に同趣旨の書簡を提出するなど、同国の WTO 加盟に向け知的財産保護の改善に高い関心が寄せられていた。⁵

<参考>

○19 日付け USTR プレスリリース

http://www.ustr.gov/Document_Library/Press_Releases/2006/November/United_States_Russia_Sign_Bilateral_WTO_Market_Access_Agreement_Negotiations_on_WTO_Membership_Now_Move_to_the_Multilateral_Pha.html

○知的財産関連米ロ二国間合意

http://www.ustr.gov/assets/Document_Library/Fact_Sheets/2006/asset_upload_file151_9980.pdf

(了)

¹ 不公正貿易報告書 (経産省通政局編) 06 年版 407～8 頁参照。

² http://www.ustr.gov/Document_Library/Press_Releases/2006/November/US_Russia_Work_to_Finalize_Bilateral_Negotiations.html

³ International Intellectual Property Alliance (IIPA) <http://www.iipa.com/>

米国著作権関連産業の 7 団体 (1900 企業以上) によるアライアンス。

⁴ [http://www.iipa.com/pdf/Press%20Release%20on%20Russia's%20Agreement%20on%20Accession%20to%20the%20WTO%20\(1123781\).pdf](http://www.iipa.com/pdf/Press%20Release%20on%20Russia's%20Agreement%20on%20Accession%20to%20the%20WTO%20(1123781).pdf)

⁵ 2006 年 5 月 12 日付け知財ニュース「ハッチ上院議員等がロシアの WTO 加盟に反対する書簡を提出」を参照。